

2. はじめに ～計画づくりに携わって～

平成 16 年（2004 年）6 月「ローカルアジェンダ 2 1」そんな聞きなれない言葉に、未来への期待ときれいな地球存続への希望を抱いて、市からの呼びかけに対し、職業、年齢ともにさまざまな顔を持った委員 52 名が集まりました。

会議は、平日の夜にみっちり 3 時間、毎月 2 回のペースで開催され、当初は、「環境問題の現状」「他の地域の実践例」を知ることから始め、持続可能な社会を実現するための行動について、想いを語り合い、熱い議論が続きました。

こうして、お互いの意見を真正面から交し合っていくうちに、「行政だけに頼るのではなく、自らが率先して、自らの手で吹田を変えていかなければならない。」という気持ちを持つようになり、また、日々の生活の中でも「こうすればもっと自然にやさしくなるのでは」「こうすればもっと豊かな地球を保てるのでは」と行動が変わっていく私たちがいました。

平成 16 年（2004 年）12 月には、「アジェンダ 2 1 すいた中間案発表会」を開催し、より広い市民の皆様からの意見を吸い上げることにより、計画に修正を加え、「アジェンダ 2 1 すいた」としてまとめ上げることができました。

これもひとえに市民や関係する皆様のご協力と「アジェンダ 2 1 すいた策定会議」委員の一人ひとりの環境保全に対する認識と熱意が結びついた成果であると思います。

今後は、この「アジェンダ 2 1 すいた」を如何に実行に結び付けていくかが重要です。

私たち「アジェンダ 2 1 すいた策定会議」委員は、計画が策定され、解嘱となりますが、平成 17 年度（2005 年度）には、計画推進の基盤となる市民・事業者・行政の三者協働による推進組織を立ち上げ、「アジェンダ 2 1 すいた」に示された行動の推進や進行管理などを実施していきます。

これからは、吹田に暮らし、働き、学ぶすべての人々が一人でも多く、この計画の推進に興味を持ち、また、参加し、市民一人ひとりの意識が変わり、持続可能な社会・自然との共生社会を実現するものと信じております。

結びに、アジェンダ 2 1 すいた策定会議に参加する機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます、又、この計画策定のコーディネートしていただいた特定非営利活動法人 環境市民の皆様には心からお礼申し上げます。

さあ いよいよアジェンダすいた 2 1 の幕開けです。市民全員で、取り組みましょう。

平成 17 年(2005 年) 3 月

アジェンダ 2 1 すいた策定会議